

コレギウム・ムジクム静岡 ハンガリー友好親善演奏会
Collegium Musicum Shizuoka
コレギウム・ムジクム静岡 第28回演奏会

客演コンサートマスター・ヴィオラ独奏

長尾春花



ハンガリー国立歌劇場管弦楽団
コンサートマスター

2018 7月14日(土)

開演14:00 / 開場13:30

静岡音楽館 **AOI**

〒420-8691 静岡市葵区黒金町1番地の9

コダーイ 夏の夕べ

バルトーク ヴィオラ協奏曲

メンデルスゾーン

交響曲 第4番「イタリア」

指揮：高橋俊之

管弦楽：コレギウム・ムジクム静岡

■主催：コレギウム・ムジクム静岡 ■協賛：株式会社 **アイワ不動産**

■後援：静岡市教育委員会 / 静岡新聞社・静岡放送 / 在浜松ハンガリー名誉総領事館

■お問い合わせ：コレギウム・ムジクム静岡 電話：054-347-0164 (藤井)

<http://www.portwave.gr.jp/collegium-musicum>



公益財団法人

静岡市文化振興財団

Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

静岡市文化振興財団事業費助成事業



プログラム



コダーイ・ゾルタン

「夏の夕べ」

(演奏時間 約 17分)

バルトーク・ベーラ

シエルイ・ティボール：補筆

ヴィオラ協奏曲

ヴィオラ：長尾春花

第1楽章 Moderato - Lento parlando

第2楽章 Adagio religioso - Allegretto

第3楽章 Allegro vivace

(演奏時間 約 22分)

～*～ 休憩 約20分 ～*～

フェリックス・メンデルスゾーン

交響曲第4番 イ長調「イタリア」

客演コンサートマスター：長尾春花

第1楽章 Allegro vivace - Più animato poco a poco

第2楽章 Andante con moto

第3楽章 Con moto moderato

第4楽章 Saltarello. Presto

(演奏時間 約 30分)

コレgium・ムジクム静岡の紹介

コレgium・ムジクム静岡は、静岡市内で活動する合唱団との共演を機に結成、1995年に管弦楽団として独立した活動を始めました。

オーケストラ独自のコンサートは今回で28回目、合唱団との共演など通算では90回を超えるコンサートとなり、この間ヘンデル作曲の「メサイア」全曲を12回演奏、ザルツブルクでの2度の海外公演も果たしました。

モーツァルト生誕の町ザルツブルクの日曜の朝、フランツィスカーナ教会に於いて、教会付き合唱団と一緒にミサ形式でモーツァルトのミサ曲を演奏。夜にはザルツブルク音楽祭が開催され町が最も華やぐ時、モーツァルトや邦人作品でコンサートを開催することができ、アマチュア演奏家として稀有な体験をすることができました。残響の長い教会での演奏体験は、小編成でホールの響きに寄り添って音楽づくりをする私たちの演奏スタイルを確立したと思います。そして今年8月には、本日の演奏会で客演コンサートマスター・独奏者として共演させていただき長尾春花さんと共に、ハンガリーへの演奏旅行を行います。この経験も私たちにとって貴重な経験となる事は間違いありません。

私達は室内管弦楽団という30人規模の編成で、これは1800年頃の管弦楽団の一般的なスタイルです。弦楽四重奏に管楽器が加わって少し大きくなった感じでしょうか。しかし、演奏する作曲家はバロックや古典時代ばかりではなく、ブラームスやマーラーそして本日のような近代楽曲まで取り組んでいます。

そして、国内外で活躍するソリストをお迎えして共演させていただきことで、より深くそしてより高い音楽演奏を我々自身も体験し、聴衆の皆様にもお届けすることができるのではないかと考えております。

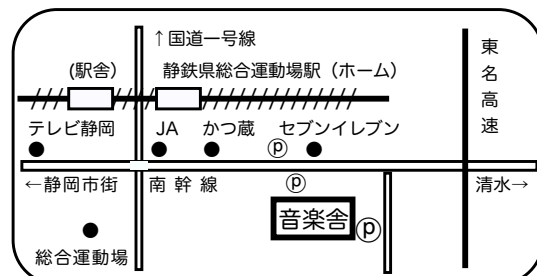
世界の楽器や楽譜をあなたに！音楽のすべてにお応えします

We Sell All About Music

音楽舎

The Ongakusha Music Co.Ltd.

〒422-8004 静岡市 駿河区 国吉田 4-8-6
TEL. 054-265-2930 FAX. 054-265-2932
URL <http://ongakusha.net/>
E-MAIL info@ongakusha.net
営業時間 AM10:30～PM7:00 日曜・祝日も営業



静鉄総合運動場駅より徒歩3分、P18台、パステルグリーンの建物です



長尾春花 (ヴィオラ/客演コンサートマスター)

静岡県掛川市出身。東京藝術大学、同修士課程を首席で卒業。

現在、同大学院博士課程、リスト音楽院在学中。

全日本学生音楽コンクール中学校の部第1位。日本音楽コンクール第1位、増沢賞、レウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞。静岡県文化奨励賞受賞。ロン＝ティボー国際音楽コンクール第5位。上尾市栄誉賞。仙台国際音楽コンクール第3位。リヨン国際室内楽コンクールファイナリスト。松方ホール音楽賞受賞。ヴェイネル・レオー国際室内楽コンクールファイナリスト。ドミニク・ペカット国際コンクール第3位。ジャンルカ・カンポキアール国際音楽コンクール第1位、特別賞、GianlucaCampochiaro賞(全部門1位)受賞。2018年、カール・フレッシュ国際ヴァイオリンコンクール第1位、特別賞受賞。

ソリストとしてフランス放送フィルハーモニー管弦楽団、オマハシンフォニー交響楽団、ドナウシンフォニーオーケストラ、アルメニア国立室内管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、山形交響楽団等と共演。

ソリストとしてフランス放送フィルハーモニー管弦楽団、オマハシンフォニー交響楽団、ドナウシンフォニーオーケストラ、アルメニア国立室内管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、山形交響楽団等と共演。

アイワ不動産イメージキャラクター。掛川お茶大使。キラリ上尾PR大使。ハンガリー国立歌劇場管弦楽団コンサートマスター。



ヴァイオリンとヴィオラ、こんなに大きさが違います。



高橋俊之 (指揮者)

1968年生まれ。1979年より桐朋学園大学附属子供のための音楽教室、同高等学校を経て、1991年桐朋学園大学を卒業。同大学研究科、指揮教室を修了。指揮法を黒岩英臣氏をはじめ、飯守泰次郎、秋山和慶氏の各氏に師事。

1991年桐朋学園大学オーケストラの一員として、ニューヨーク・カーネギーホール、仏・エヴィアン音楽祭に出演。1992年スイス・ルガーノでマスター・プレイヤーズ、1993年ウィーン・マイスター、1995年イタリア・オルヴィエートでレスピーギ音楽院の各指揮コースに参加。2009年から、コレギウム・ムジクム静岡の指導にあたる。

1枚の切符から世界旅行まで・・・

国内旅行・海外旅行のお問い合わせはJTBまで



感動のそばに、いつも。

株式会社JTB 三河支店

☎0565-85-1050

豊田市御幸本町1-179

担当：中野 太郎

コダーイ・ゾルタン 「夏の夕べ」

ハンガリー南部のケチュケメートに生まれたコダーイ・ゾルタン（1882-1967）は音楽好きの父母のもと、室内楽などを身近に感じる環境の中で育ちました。1900年ブダペストの文科系大学哲学科に入学。ハンガリー語、ドイツ語、文学を専攻しましたが、同時に王立音楽院の入学試験を受け、作曲を学びます。学費を免除されるほどの優秀な成績でしたが、二つの専攻を全うするのは相当に苦労だったようです。



コダーイはバルトークと共同で民族音楽の研究をしています。一歳年上のバルトークが伝統音楽の教えを乞いにコダーイのところへ出向いたというエピソードから、バルトークも一目置くほどの深い知識を持っていたことがうかがえます。1906年にはハンガリー語研究の成果をまとめた論文「ハンガリー民謡における韻律法の節構造」によって博士号を取得。音楽院の卒業作品として作曲された「夏の夕べ」により奨学金を得て、ベルリンとパリへ半年間短期留学をしています。帰国後は母校の王立音楽院で教鞭を取りました。

コダーイは音楽教育においても大きな業績を残しています。楽器を習う前に、まず自分の声で正確に表現できることが重要であるとして、ソルフェージュに重きをおいた教育法を提唱しました。伝統音楽のうちでもとりわけ声の音楽に向き合い、言語研究を通していわゆる「コダーイ・メソッド」と呼ばれる音楽教育法を確立しました。彼の作品はピアノ曲、室内楽曲、管弦楽曲、歌劇、教会音楽と多岐にわたります。しかし、その中でも合唱曲が際立って多いのは、歌が彼の教育法においてきわめて重要なものだったからです。作曲、民族音楽研究、音楽教育、コダーイはそれぞれの分野で偉業を成し遂げましたが、これら全ては根底でつながっています。

「夏の夕べ」は1906年、コダーイ24歳の時に作曲したものです。（初演はハンガリー国立歌劇場管弦楽団）その後1929年にトスカニーニの要請で改訂されます。改訂版のスコアには、こう書かれています。「新しく刈り取られたばかりのとうもろこし畑や、アドリア海のさざ波。この曲はそこで過ごした夏の夕べに構想された。それは私の中で思い出としてずっと留まり続けるだろう。（中略）改訂について、最初のオリジナル

な音色は変わっていない。第3ホルンが除外されただけで、楽器編成も変わらないままだ」。改訂版は1930年トスカニーニ指揮、ニューヨーク・フィルハーモニック交響楽団によって演奏されました。曲の冒頭、コールアングレの牧歌的な音色により主題が提示されます。沸き立つような弦楽器が次の主題を奏で、ハンガリーの音楽に特徴的な五音音階に落ち着いていくと、それにこたえてコールアングレが再び語りだす。そうして、思い出が次々によみがえっていくように、いくつもの主題が提示されていきます。

「もし、誰かがハンガリーの音楽教育の本質を一言で言おうとすれば、それはうたうという一言に尽きる。トスカニーニが、練習中にもっとも多く口にした言葉はカンターレ！（うたえ！）であった。千の色合いと、意味をもって。（中略）人類は、本当に音楽の価値を知るとき、より幸せに生きることができるであろうとは、私たちのゆるぎのない確信である。このことのために働く人は、たとえその道のりは違っても、意味ある生の営みを残す人である。

コダーイ・ゾルタン（中川弘一郎訳）

（竹之内 理香）

バルトーク・ベーラ ヴィオラ協奏曲



作曲家であり、ピアニストであり、民族音楽学者でもあったバルトーク・ベーラ（1881-1945年）は、リスト、コダーイとともに、ハンガリーを代表する国民に尊敬されている作曲家です。

「ヴィオラ協奏曲」は、当時すぐれたヴィオラ奏者であったウィリアム・プリムローズの依頼により、最晩年の1945年に亡命先のアメリカで作曲されましたが、遺作となり、オーケストレーションなどシェルリーという人が完成させました。プリムローズは、ヴィオラをヴァイオリンやチェロと同様に独奏楽器としての地位を築いた演奏家です。

私もヴィオラを弾くので、プリムローズの書いた「ヴィオラ奏法」という本を以前より少しずつ読んでいましたが、その本にはこの曲がよく引き合いに出されています。その理由はプリムローズのために書かれた曲であり、何百回も演奏した曲、だからなんですね。今になって解った新発見でした。

ハンガリーは東欧の真珠と讃えられるブダペストを首都に持つ魅力ある国です。かつては現在より領土は

広く豊かな歴史を持っていましたが、18世紀にオーストリア・ハプスブルグ家の支配に入り、20世紀になって第一次世界大戦で敗北。その後ドイツ・ナチスを頼ったため、日本と同じ同盟国となり、第二次世界大戦でも敗北。バルトークはこのようなふたつの大戦の敗北と混乱の時代に生きた人でした。

しかしバルトークは友人のコダーイとともに、ハンガリーのナチス化に対し、非人道的行為、野蛮な侵略と独裁制、人種差別に激しく怒り、反抗しました。有名人だったので、いつナチスから逮捕、死刑にされてもおかしくない状況でしたが、平和を愛し、実直に生きた人でした。

戦火の中、亡命して生き残り、多くのすぐれた曲を残してくれたことを感謝します。

「ヴィオラ協奏曲」は、そのようなバルトークの思いがにじみ出た彼独特の世界感を感じます。そして作曲家としての集大成の曲ではなかったかと思えます。3つの楽章を休まずに演奏し、長さは20分を少し超える曲ですが、様々なヴィオラの音色が十分に楽しめると思います。

二刀流は大リーグの大谷選手だけではありません。今日、長尾春花さんもヴァイオリン同様に愛しているヴィオラで、この名曲を心を込めて演奏します。

■第1楽章 (モデラート)

興奮あり、悲しみあり、深い感情あり、彼の真面目な内面を感じさせます。

■第2楽章 (アダージョ)

宗教的な清く美しい曲です。

■第3楽章 (アレグロ・ヴィバーチェ)

民族舞曲風で躍動感ある曲です。 (飯田 晃司)

ヴィオラという楽器

「オーケストラがワインならヴァイオリンはラベル、チェロはボトル、ヴィオラは中身だ!」というヴィオラを称えた一文がありました。少し言いすぎかもしれませんが、それほどヴィオラという楽器はオーケストラのサウンドを作るためには必須の楽器です。でもヴィオラってどんな音なの? そもそもヴィオラってオーケストラのどこで演奏しているの? そう思っている方も少なからずおられるのではありませんか。

本日のオーケストラのヴィオラの配置はステージの右手チェロの後ろ側で、6名のヴィオラ奏者が演奏します。余談ですがオーケストラでは「3プルトのヴィ

オラ編成」と言う表現をします。プルトとは譜面台のことで弦楽器は2人で一つの譜面台を共有するので、本日のヴィオラは3プルト編成という事になります。

さて最初にヴィオラの外見を説明しましょう。ヴァイオリンとヴィオラを並べた写真をご覧ください、形はほとんどいっしょですね。ヴァイオリンのサイズは基本的に決まっています。胴体の長さが355mm前後ですが、ヴィオラの胴体の長さは380mmから430mmくらいの幅の楽器が制作され、奏者の体格や技量、好みによって選ばれます。またヴィオラを弾く弓はヴァイオリンの弓より少し短く少し太くそして重いのです。



ヴァイオリンとヴィオラ、チェロのそれぞれ4本の弦の音高を楽譜で示しました。G線(ソ) D線(レ) A線(ラ) はヴァイオリンもヴィオラも共通の音高です。チェロはヴィオラを1オクターブ低くした調弦となっています。つまりチェロ、ヴィオラ、ヴァイオリンとそれぞれ音域を重複しながら積み重なってオーケストラや弦楽四重奏は作曲されます。

ここで大事なことは、音域の観点だけからならヴィオラの音域は、チェロとヴァイオリンがあればカバーできてしまう事です。ではどうしてヴィオラが存在するのでしょうか? それはヴァイオリンのG線D線A線とヴィオラのG線D線A線は同じ音高にも関わらず似て非なる音色を持っており、同様にチェロが同じ音高を弾いてもやはり音色は違っているからだと思えます。

チェロの音域 ヴィオラの音域 ヴァイオリンの音域

音色のみがヴィオラの存在価値ではありませんが、ヴァイオリンともチェロとも違う複雑で豊かな中音域の音色がヴィオラ奏者を虜にしている一番の理由に思えます。ヴィオラはチェロ寄りにもヴァイオリン寄りにも付けて行きながら結構忙しく知的に演奏するパートでもありますが、オーケストラの背景を作る大事な楽器なのです。

幼少の頃からヴィオラを目指す奏者はめったにいま

せん。初めは練習用の分数ヴァイオリンからお稽古を始めますが中学生くらいになって、ヴィオラというヴァイオリンのお姉さんのような存在を知ると、その魅力に取りつかれた者だけヴァイオリンから転向してヴィオラの専門家を目指すのです。

ヴァイオリンやチェロと比べて華々しさを前面に押し出す楽器ではないのでソロ楽器としての作品は多くはありません。しかし本日の長尾春花さんが演奏するバルトークの遺作のヴィオラ協奏曲を聴いて下されば、ヴィオラの魅力が堪能できるのではないのでしょうか。バルトークのヴィオラ協奏曲はヴィオラの演奏能力を極限まで追求した作品ですので、技巧面の難しさに耳が行くかも知れませんが、冒頭のモノローグや第2楽章の夜の静寂の音楽に、ヴィオラならではの落ち着いた控えめではありますが深い音色を感じ取ることが出来ると思います。

(才茂 泰司)

フェリックス・メンデルスゾーン

交響曲第4番「イタリア」

メンデルスゾーンはシューマン、ショパンとほぼ同時代に活躍したドイツの作曲家です。19世紀初頭も音楽の中心はウィーンでしたが彼は北ドイツで活躍しました。裕福で教養ある家庭に生まれ高度な教育を受けて成功した幸せな音楽家とされています。音楽の才能は無論のこと、堪能な外国語、水彩画の腕など早くからモーツァルトと較べられる程の神童として知られていました。

11歳のこの少年に会った文豪ゲーテは彼の才能に感銘を受けた一人で彼の方もゲーテの詩に多くの曲をつけ二人は生涯交際を続けました。

彼はドイツロマン派に属しますが古典派の和声と様式を守ったので新古典主義とも呼ばれます。一方「音の風景画家」と称されるほど描写音楽に優れた才能を示し「フィンガルの洞窟」などの傑作を残しました。

また作曲分野だけでなく19世紀の音楽界に大きな影響を与えました。当時は脇役的な存在だったオーケストラ指揮者の役割を飛躍的に高め、世界的に有名なライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のカベルマイスターとして活躍しオーケストラの今日ある姿の礎を築いたことでも知られています。

大変優れたピアニスト、オルガニストでもありましたが特筆されるのは当時全く忘れられていたバッハを



「マタイ受難曲」を再演することで一般に再認識させたことです。一方、ヘンデルや当時演奏困難などと言われて軽視されかけていたベートーヴェンを積極的に取り上げるなど過去の傑作の真価が軽視されることの無いように努力した業績も見逃せません。

彼の作品ではヴァイオリン協奏曲があまりに有名ですが、ムジクムで以前取り上げた交響曲第3番「スコットランド」、「フィンガルの洞窟」の他に本日の「イタリア」、また劇付随音楽「真夏の夜の夢」、ピアノ曲「無言歌」集などが広く親しまれています。

彼は20歳の時英国へ演奏旅行して以降短い生涯に10回もこの国を訪れ熱烈な支持を得ています。上述のスコットランド、フィンガルの洞窟の2曲はその時の印象に基づいた音楽です。

21歳の時にはイタリアの各地を旅行し、家族に宛てた手紙の中で作曲の意向を伝え「これまでのどの作品より楽しいものになると思う」と記しています。本曲はその時の印象がモチーフになっていますが素材として取り入れたことが明確なのは第4楽章です。この曲は作曲者自ら何度か改訂を試みるなどの経緯があったため楽譜の出版が遅れました。作曲順から行くとこの交響曲4番は3番の「スコットランド」より9年前にさかのぼり1824年、24歳の時に完成しています。

<余談>

私事になりますが、今は昔、高校1年の時英語の宿題にシェイクスピアの「真夏の夜の夢」の和訳がありました。丁度その頃テレビで同名の映画が放映されバックの音楽はもちろんメンデルスゾーンの同じ題名の曲でした。その美しい音楽と妖精の出てくる幻想的な映像にすっかり感動しつつ、字幕を見ながら訳もすんなり進んだことでした。それ以後この曲の大ファンに。

余談のついでに今は亡き近衛秀麿氏の話をご紹介します。“大指揮者フルトヴェングラーの指揮ぶりを見に行った時、「もっとピアノ、もっと、もっと……」と要求する。しまいには誰も弾いている人がいない。そこで一言「よろしい」。ファゴット奏者のローテンシュタイナは茶目っ気たっぷりでした。フルトヴェングラーに可愛がられていたので何を言っても怒られないんですよ。「誰もひいてませんよ」と言ったもんだから、失笑続出……”。アマチュアオケ、我々も弾き過ぎる傾向があるようです。

第1楽章

アレグロ ヴィヴァーチェ 6／8拍子

木管楽器の軽快な刻みに乗って生き生きとした第一主題をヴァイオリンが奏でます。イタリアを訪れた時の第一印象が表現されているかのようです。第2主題は木管に優しく受け継がれますが楽章全体が躍動感に満ちています。

第2楽章

アンダンテ コン モート 4/4拍子

木管が哀愁を帯びた主旋律を歌います。巡礼が歩むかのように刻まれる弦のリズムが特徴的です。

第3楽章

コン モート モデラート 3/4拍子

素朴ながら優雅さと滋味を持ったメヌエット風の楽章で中間部ではホルンが美しい和音を響かせます。

第4楽章

サルタレッコ プレスト 4/4拍子

「タッタタタ タッタタタ…」というリズムのサルタレッコと3連符が連続するタランテッラはいずれもイタリアで流行した3拍子系の早いテンポの舞曲です。作曲者はローマのカーニバルなどでこれらに接し素材として直接的に用いました。2つのリズムを短調で巧妙に絡ませながら熱狂と快活さを見事に表現しています。

(原田吉郎)



19世紀 サルタレッコの踊り

コレギウム・ムジクム静岡メンバー

長尾 春花 (客演コンサートマスター)

1st ヴァイオリン	江成 博行	大内 裕子	菅野 美穂	鈴木 洋美	江成 淳美	近藤 哲男
	田中みね子	竹之内理香	深澤 文			
2nd ヴァイオリン	原田 吉郎	才茂奈生子	大内 潤	望月 勉	川口 舞	高橋 大喜
	近藤ひとみ	児玉 道子				
ヴィオラ	飯田 晃司	杉山有紀子	岩崎 浩子	才茂 泰司	今田 幹子	佐藤 瞭平
チェロ	鈴木 誠一	常盤 洋平	川端 一志	小長井麻由	盛永 禎之	
コントラバス	藤井 弘之	谷河 愛美	橋本 有司	横田 珠佳	山梨 楨也	
フルート	西貝 詳子	石野 智子	加藤 裕美			
オーボエ	小田 紀子	大橋 弥生				
クラリネット	鈴木 教代	青木 康人				
ファゴット	森本 純一	糸賀 拓也				
ホルン	松下 未来	浪華 智子	中川 優季			
トランペット	杉山 雅行	深見 康英	鈴木 恵子			
トロンボーン	稲葉 玲美	稲葉 滋広				
チューバ	山内 豊					
パーカッション	西貝 誠一	川口 明子	稲熊 麻美			

シャコンヌは、ヴァイオリンをはじめ、弦楽器のコンサルタントとして安心と信頼をお届けしています。ご提供する楽器や弓は、ロンドンでのオークションをはじめヨーロッパ各地にて実際に目で見て吟味したものなどを輸入して揃えています。各店には、伝統的な修理技術をもとに日本の繊細な技術を生かした独自の基準をクリアした職人たちが常駐し、楽器本来の姿を取り戻します。お客様が安心して演奏活動ができますよう、あらゆるご要望にお応えします。

現代版ストラディヴァリウス
「新作 CHACONNE」好評発売中!

<http://www.chaconne.info> E-mail:tokyo@chaconne.info

弦楽器直輸入・修理・調整・楽譜・弦楽器関連商品

株式会社シャコンヌ

【名古屋店】

名古屋市中区栄 2-11-19
熊田白川ビル 2F
☎052-202-1776

【東京吉祥寺店】

武蔵野市吉祥寺本町 1-31-11
KSビル 904
☎0422-23-1879

営業時間：10:00 ~ 18:30 定休日：日・月



CHACONNE
DEALERS OF FINE VIOLINS



メゾン・ヴァンベル東静岡
(平成26年9月完成 / 全49戸)



メゾン・ヴァンベル音羽の杜
(平成16年完成 / 全36戸)



メゾン・ヴァンベル江尻台
(平成13年完成 / 全26戸)



メゾン・ヴァンベル大岩
(平成12年完成 / 全18戸)



メゾン・ヴァンベル音羽町
(平成11年完成 / 全12戸)



メゾン・ヴァンベル用宗
(平成10年完成 / 全28戸)



[A棟]



[B棟]

メゾン・ヴァンベル広沢
(平成9年完成 / 全42戸)



メゾン・ヴァンベル静岡
(平成10年完成 / 全45戸)
平成10年度住宅金融公庫
優秀賞受賞



メゾン・ヴァンベル鷹匠
(平成7年完成 / 全27戸)



メゾン・ヴァンベル中田
(平成8年完成 / 全28戸)



メゾン・ヴァンベル安東
(平成8年完成 / 全12戸)



メゾン・ヴァンベル静岡
(平成10年完成 / 全45戸)
平成10年度住宅金融公庫
優秀賞受賞

あなたの地図の、 まんなかに。

人は心のなかに、じぶんの地図をもっています。

そこは住みなれた街がひろがり、

かけがえない家族がいて

今日までの人生が記されています。

その地図に、

マンションライフという夢を描いていただくこと。

時代が変わっても色褪せない、

価値ある生活空間をお届けすること。

これが私たちの願いです。

あなたの地図のまんなかをめざして。

私たちはこれからも、ここ静岡県を舞台に、

住まいづくり、街づくりに取り組んでまいります。



メゾン・ヴァンベルは、アイワ不動産の分譲マンションシリーズです。

Congratulations, Haruka.

長尾春花

第13回

カール・フレッシュ

国際ヴァイオリン・コンクール

優勝



イメージキャラクター
長尾春花

アイワ不動産 HD

アイワ不動産

アイワマネジメント

アイワホームサービス